

しんあさかそすい  
新安積疏水



新安積疏水路



安積疏水とかんがい地

この新疏水は、安積疏水の水を使うことができなかった奥羽  
さんみやく おうせまち みほた  
山脈のふもとの逢瀬町・三穂田町・安積町の一部、そしてとな  
りすかがわし いわせぐん  
りの須賀川市の一部や岩瀬郡にまたがる山林原野などの開発を  
しようとしてつくられました。

1943年（昭和18年）から工事が始まり、1962年（昭和37年）  
にできあがりしました。工事には約300万人の人手と、約30億円も  
のお金がかかりました。

新しく猪苗代湖の水をいつもためておける深田ダムもつくら  
いなるこ ふかだ  
れました。農業用水や工業用水、飲み水として、安積疏水は、  
今でもわたしたちの生活に大切な役割をはたしています。



なに気なく、麓山の  
滝や水路を見て  
いたけど、そせんの  
苦労と努力が  
たくさんあったのね

むかしの人々の  
生活やねがいを  
わすれないで  
水を大切にしていこう

